

MultiWriter Internet Services 設定手順書 OAuth認証編

はじめに

Exchange Online環境でプリンタのメール送信機能（メール通知、スキャンtoメール*、メール転送*）について、2026年3月以降に同環境のBasic認証廃止に伴い、パスワード情報を直接送信する方式が利用できなくなるため、本手順書はOAuth 2.0認証によるメール送信機能の設定手順を説明します。*はプリンタ複合機のための機能

本機能は2025年9月12日以降に提供されるプリンタファームウェアで対応しているため、それ以前のファームウェアをご利用のお客様はアップデート後に本手順書をご活用ください。

本手順書の対象者

本手順書は以下の①～②を満たすお客様です。

① 対象となるお客様

Microsoft Exchange Onlineをご利用いただき、
対象プリンタのメール送信機能をご活用されているお客様で、
貴社のMicrosoft Entra IDテナント（旧Azure AD）にてアプリケーション登録（クライアントIDの取得）が可能な場合

② 対象プリンタ

MultiWriterシリーズ（モノクロページプリンタ）

PR-L3M530, PR-L3M550, PR-L3M570, PR-L4M550

Color MultiWriterシリーズ（カラーページプリンタ）

PR-L3C530, PR-L3C550, PR-L3C731, PR-L3C751, PR-L3C751A, PR-L4C150, PR-L4C550

PR-L4F150（プリンタ複合機）

注意事項

- ・プリンタにはSMTPサーバーの設定は1件のみ可能で、最後に設定した内容が有効となります。
- ・OAuth 2.0認証を使用したExchange Online/Outlook.comのSMTPサーバーを設定した場合、操作パネルでSMTPサーバー名を手動入力しても、Internet Servicesのサービスプロバイダー設定により無効化されます。
- ・本機能をご利用の際は、必ず2025年9月12日以降の最新版ファームウェアに更新してください。
- ・本機能の利用には、貴社Microsoft Entra ID管理者による管理者同意が必要です。
- ・同意が得られない場合は、Exchange Online以外のBasic認証対応メールサービスをご検討ください。

目次

はじめに	1
Microsoft Entra ID 上での管理者によるアプリ登録と同意	2
Internet Services でのプリンタの SMTP サーバー設定	3

Microsoft Entra ID 上での管理者によるアプリ登録と同意

Exchange Onlineのメール送信を行う場合、以下の事前手続きとして本機が実行する処理についてMicrosoft Entra ID 管理者による同意が必要です。

Microsoft Entra ID管理者によるアプリ登録に必要な情報

- ・プリンタの機械管理者がInternet Servicesへ登録するために必要な情報は、
 - ・Microsoft Entra IDの「テナントID」
 - ・完了したアプリケーション（クライアント）ID
- ・アプリIDは登録後に、Microsoft Entra ID管理者からハイフン区切りの32桁英数字（GUID形式）で取得します。
- ・プリンタ機械管理者はMicrosoft Entra ID管理者にアプリ登録を依頼または相談し、登録内容を決定します。

アプリ登録時の入力項目詳細

項目	アプリ登録時の入力例	説明・補足
名前	PrinterOAuthClient	プリンタ用とわかりやすい任意の名称を設定します。
アプリID	アプリ登録後に取得できます	登録完了後、Microsoft Entra ID管理者から発行される一意の識別子です。
サポートされるアカウントの種類	「この組織のディレクトリ内のアカウントのみ」	自社テナントのみを対象としたシングルテナント設定です。
リダイレクトURI	未入力のまま登録	「アプリケーション登録」の画面では未入力のまま登録し、[認証]>[プラットフォームを追加]から[モバイルアプリケーションとデスクトップアプリケーション]を選択し、[https://login.microsoftonline.com/common/oauth2/nativeclient] の選択にチェックを入れてください。
クライアントシークレット	（登録後に発行・管理者が取得）	クライアントシークレットは使用しませんので、作成する必要はありません。
APIのアクセス許可	[Microsoft Graph]>[委任されたアクセス許可]から以下を選択 ・email ・offline_access ・SMTP.Send ・User.Read	プリンタにアクセス許可を与えるAPIの一覧です。
Microsoft Entra ID 管理者同意	[APIのアクセス許可]>[xxに管理者の同意を与えます]を押下	※管理者の同意が必要かはテナントの設定によります。

プリンタ本体メールアドレスについて

- ・プリンタがメール送信時に送信者として使うメールアドレスです。
- ・Microsoft Entra ID上で管理されているユーザーアカウントのUPN（メールアドレス形式）と一致する必要があります。
- ・本体メールアドレスそのものはアプリID登録の対象ではなく、
「プリンタが使用するアプリに正しいUPNのユーザー（メール送信権限を持つアカウント）が存在していること」が重要です。

取得すべきIDの形式

種類	例（GUID形式）	説明
テナントID	ハイフン付き32桁の英数字	Microsoft Entra IDテナント固有の一意識別子
クライアントID（アプリID）	ハイフン付き32桁の英数字	Azure ADにアプリ登録後に発行される一意識別子

Internet Services でのプリンタの SMTP サーバー設定

1. Internet Services に機械管理者としてログインします。

注記

- ・ [サービスプロバイダー] で [Exchange Online/Outlook.com] を選択した場合は、
[アプリ] > [メール送信] > [動作設定 (アプリ共通)] > [送信者アドレス] で以下の設定を必ず行ってください。
 - ・ [認証ユーザーのメールアドレスを使用] を無効にする
 - ・ [送信者アドレスの変更] 設定を [禁止] にする
- これらの設定が適用されていないと、メール送信時に送信拒否エラー発生可能性があります。
- ただし、メール送信アプリで代理送信設定されたアドレスを利用する場合は、[送信者アドレスの変更] の禁止設定は不要となります。

2. ご利用の環境に合わせてDNSサーバーとプロキシサーバーの設定を行います。

3. メニューから [ネットワーク] > [プロトコル設定] > [SMTP] をクリックします。

注記

- ・ [送信時の認証ユーザー] が [外部認証のユーザー] に設定されている場合は、必ず [本体設定] に変更してください。
- ・ 一度 [本体設定] に変更した後は、操作パネルから [送信時の認証ユーザー] を [外部認証のユーザー] に戻さないでください。変更するとメール送信時に送信拒否エラーが発生します。

4. [サービスプロバイダー] で [Exchange Online/Outlook.com] を選択します。

- ・ テナントID、クライアントID欄には、Entra ID管理者より取得した正確な情報を登録してください。
- ・ スcope設定は初期表示のままで変更不要です。

5. [保存] をクリックし設定内容を反映させます。

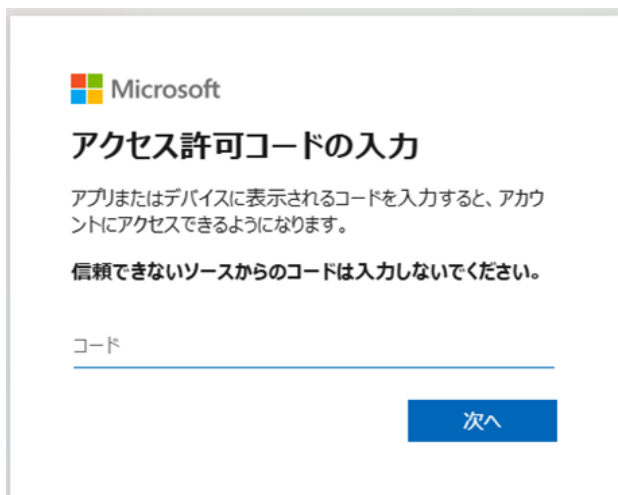
注記

- ・ 特別な理由がない限り、[受信ポート番号] 以外の項目を変更しないでください。

6. [認証コードの入力] 画面で [次へ] をクリックしてください。

- ・ 赤枠内に表示される9桁の英数字コードを必ず控えてください。

7. コード入力画面で控えた9桁コードを入力し「次へ」をクリックします。

A screenshot of a Microsoft web page titled 'アクセス許可コードの入力' (Access Permission Code Input). It features the Microsoft logo at the top left. Below the title, there is a paragraph of Japanese text explaining that entering a code from an app or device allows account access. A warning states that codes from untrusted sources should not be entered. There is a text input field labeled 'コード' (Code) and a blue button labeled '次へ' (Next) at the bottom right.

8. サインイン画面が表示されます。

送信用メールアドレス（Microsoft Entra IDアカウント）を使ってサインインしてください。

9. サインインに成功したら画面を閉じます。

サインインしたアカウントのメールアドレスが、本体メールアドレス（赤枠表示）として自動設定されます。

A screenshot of an SMTP configuration window. It has a title bar 'SMTP'. Below it are several settings: 'ポート(メール通知)' (Port for mail notification) with a dropdown set to a value and a checkmark icon; 'ポート(メール受信)' (Port for mail reception) with a dropdown set to a value; 'サービスプロバイダー' (Service provider) set to 'Exchange Online/Outlook.com'; and a note 'サインインしたアカウントのメールアドレスを、本体メールアドレスに設定します。' (Set the email address of the signed-in account as the main email address). At the bottom, there is a text field labeled '本体メールアドレス' (Main email address) which is highlighted with a red rectangular border.

ここで設定されるメールアドレスは、プリンタがメールを送信する際の送信元（差出人）となります。

注記

- ・サインインしたアカウントのUPN（ユーザープリンシパル名）と本体メールアドレスは必ず一致している必要があります。
- ・サインイン後は、Internet Servicesの「機械の詳細」ダイアログやプリンタ操作パネルで、本体メールアドレスをUPNと異なるアドレスに変更しないでください。
- ・変更すると認証エラーとなり、メール送信ができなくなります。

以上

改版履歴

2025/9/11	初版発行	JS-25-0013	
2025/9/12	改版	JS-25-0013K2	アプリ登録時の入力項目修正